

平成 29 年度 12 月度自主防災会議議事録

日時 平成 29 年 12 月 16 日 14 時～16 時 管理センター東棟

出席者 小桜 青木 金田 高濱 石川、藤田、管理センター中川

1. 金田情報部会長から先に出されていた災害発生時のマニュアル資料について各防
災員より意見を出すことになり、救護給食班からマニュアル書が提示され、これ
も含めて各委員より意見をのべ、災害直後の 5 分間こそ重要とし、まず我が身を守
る、次に火の始末、屋外への出口確保等をマニュアル化。
 2. 余震も予想される中ではあるが揺れが収まったら我が身の安全を確認後、ブレー
カーを落とし、安否確認の黄色い旗を出す。
 3. 1 と 2 は自助そのもので、ここままで 5 分位は経過すると見込まれるので 5 分後
から皆が無事課となり近所に声をかけつつ、各地区の集合場所に集まる。
 4. 自主防災員は発災直後に防災無線をオンにするとともにこの 3 の段階で本部への
集合を目指す。
- こうした意見も参考に情報部長の手で従来のマニュアルを見直すこととする。
5. 救護班より医薬品の備蓄方法を再検討する（ケースに分別収納など）旨の提案
 6. 青木管材部長より町からの補助金実績表と来年の補助金要望書が回覧された。
 7. 救護給食班は 2 月 3 日に訓練の事前打ち合わせを行い、2 月 17 日にホールで救護
給食勉強会を開く

次回防災会議は 1 月 13 日土曜日 14 時からとし発災時の本部立ち上げについて議論し
てみたい。

以上